



せせらぎスクール

親子で水環境を学ぶ
フィールドワーク



今年も、生き物調査をするために星置川(札幌市手稲区)に行ってきました。1時間ほどでたくさんの魚や虫、エビやカニ、斑紋の美しい小さなヤマメが見つかりました。フクドジョウやウグイを水槽に入れて観察し、川の水質検査も行いました。講師の(株)シン技術コンサルの板谷利久さんの話では、昨年より清流に棲む生き物たちがたくさんいたとのことでした。参加者からは、「川と水はイコールなんだと改めて感じた」「自然を守り、次世代につなげていくことが必要だと思った」などの感想が。川が汚れる一番の原因は、家庭からの生活排水です。合成洗剤の成分は処理しきれずに川や海に放流され、生き物たちの生態系に影響します。水環境を守るために、身体にも自然にも優しい石けんを利用しましょう。〈石けん運動委員会担当理事 福井美知代〉



6家族16人が参加(7/20)



魚が入った観察用水槽をのぞき込む子どもたち

INDEX

消費材を食べて納得
紹介キャンペーンはじまります 3

支部活動紹介
南支部・小樽支部・南支部・釧路支部 4~5

本物の牛乳を作り続けてもらうために
みんなでもっと飲みましょう 6

戦後80年 シリーズ戦争を語り継ぐ
空襲と飢え 死と隣り合わせだった日常 7



組織 (7月度)	
組合員数	12,154 名
加入	44 名
脱退	57 名
共同購入 (8月度)	
利用高	2億2,671万7,833円
1世帯当たり	18,654円
グリーンシステム (7月度)	
Rびん	回収 17,628本 回収率 67.5%
紙パック	売却金 7,110円 回収率 80.0%
ピッキング袋	回収率 12.9%
福祉基金 (7月度)	
賛同者数	2,913 名
賛同率	22.7%
エコロ (7月度)	
加入者数	3,814 名
加入	2 名
脱退	13 名
生活クラブ共済 ハグくみ (5月度)	
加入件数	1,354 件
CO・OP 共済 (6月度)	
保有件数	たすけあい 3,527 件 あいぶらす 1,865 件
電気的共同購入 (5月)	
〈供給契約者数〉	769 名
〈電源構成比 速報値〉	5月は約9割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。



組織活動(組活)

上半期も残りわずかです。各支部では、運営委員が少ないなか拡大をすすめています。ほとんどの支部がまだ目標に達していません。組活では外部イベントへ出展し、拡大活動の後押しをしています。また「野本さんの食品添加物講座」は、昨年好評だったので会場を増やして4カ所で開催します(P8参照)。



各支部でも生産者「クラブイベント」をたくさん企画しています。支部からのお便りや機関紙、SNSなどをチェックして、ぜひ友人や知人を誘って参加してください。



消費委員会

生活クラブ牛乳の利用が減少し続けています。貴重な低温殺菌牛乳を飲み続けていくために、より多く利用してもらおうと、「牛乳プロジェクト」を立ち上げて活動しています。

プロジェクトでは、牛乳を飲むだけではなく食べて利用しようとして「牛乳レシピコンテスト」を企画しました。各支部内でレシピを募り1点を選出。全18支部の中から組合員投票で入賞を決めます。アイデアに富んだものから自慢のレシピまで大歓迎。「これって料理？」というような、簡単なものでもOKです。生活クラブ牛乳の魅力を再確認し、広く発信していく機会にしていきます。



原発ゼロ・市民エネルギー委員会

北海道マウコピリカ宣言の賛同者が千人に達しました。生活クラブ北海道のホームページには、賛同者の名前が載っています(公表可の方のみ)。生活クラブの生産者や、さまざまな団体からも宣言をいただいています。

寿都町と神恵内村では、核ミミの最終処分場選定に向けた文献調査が行われました。北海道道教育大学の岡村聡名誉教授らは論文で、寿都町にある磯谷溶岩は第四紀火山に該当するため、町のほぼ全域が処分場不適地だと指摘しています。核ミミの放射能は10万年経っても安全になるとは言えません。北海道に核のミミはいらないと、反対の声を拡げていきます。



文化委員会

毎年8月は、ヒロシマ・ナガサキ平和行動、被爆証言を聞き集い、そして終戦記念日と、戦争について考える場面が続きます。「8月は嫌いだ。1年のうち他の月は戦争のことを考えず、8月だけこころをさるるよう」に促すマスコミや社会では、真の平和につながると思えないから。そんな考え方もあると知ったとき、平和をモノサシに組み立ててきた文化委員会の活動を、次の世代にもつなげていきたいと切に思いました。

9月には、皆さんがカンパで送り出してくれたヒロシマ平和行動の報告集ができます。10月13日には報告集会を開くので、ぜひ来てくださる。

6月の理事会から

● 第1四半期決算報告があり、供給高は7億5418万円で計画対比100.83%、前年対比103.15%でした。しかし、供給剰余率が低下したため厳しい状況です。

● 生活クラブと生活クラブ共生会共催による拡大試食会が、10月1日に行われると報告がありました。

● 2023年5月に開始した千歳市の配達に、8月から向陽台エリアが加わると報告がありました。

● 生活クラブ共済「ハグくみ」は2024年度決算に基づいて、13%の割り戻しを実施すると報告がありました。

● CO・OP共済は2024年度決算に基づいて、割り戻しを実施すると報告がありました。

消費材を食べて納得!

紹介キャンペーンはじまります!

9~10月は紹介キャンペーン! 友人・知人に消費材を試してもらって、加入をすすめてください。あなたのまわりにいる生活クラブに興味のある人に、私たち自慢の消費材を食べてもらえるチャンスです!

2024年度、組活では紹介キャンペーンに絡めて、8月に「野本さんの食品添加物講座」、9月に外部イベント「Bonheur (ボヌール)」へ出展、10月「わくわくまつり」、11月「拡大試食会」と、多くの活動を行いました。組合員から紹介のあった458人に消費材のサンプルを届けることができ、拡大につながりました。



「フェアトレードフェスタ in さっぽろ 2025」に出展しました。各支部からも組合員がスタッフとして参加し、生活クラブをアピール。3人の当日加入につながりました
(6/28・29 札幌市民交流プラザ)

今年度も紹介キャンペーンにあわせて、各支部がさまざまなイベントや展示説明車あみーかの運行を計画しています。組活でも、拡大を後押しするイベントを企画しています(下記参照)。みなさんも紹介キャンペーンや拡大企画を利用して、生活クラブを身近な人にお知らせしてください。

食べる^{くち}口を増やしましょう

共同購入における組合員の消費材利用点数が減少しています。消費材価格の値上げの影響もあるかもしれませんが、原材料価格等の高騰分を補い、生産者が消費材を再生産するために必要であると判断して決めた価格です。利用が減ると、生産者は作り続けることができません。食べる約束をして消費材をつくってもらっている私たちには、食べる責任があります。食べる人、食べる口を増やすため、今こそ利用結集と拡大をしっかりと行っていきましょう。

今年も
始まるよ♪



9/1~10/31

紹介キャンペーン

おすすめ消費材を
セットでお届けします



豚肉解体講習会(9/24)にも参加して、良さを友達にも伝えよう

ハンバーグやミートソースなどで消費材のおいしさを実感してもらいましょう!



お友達と一緒に参加してね



9/6・7 山の蚤の市(外部イベント)
さっぽろばんけいスキー場

9/12・13 野本さんの食品添加物講座

10/1 拡大試食会

釧路支部

試して納得！知って安心

ひんやりとした初夏からいきなりの猛暑となった6月26日、美容・コスメなどの生産者(株)ジャパンビューティープロダクツとのコラボイベントを開催しました。テーマは「後悔しないお肌管理～あなたのお手入れ、本当に満足していますか?」。運営委員の実感に基づいた、なかなか攻めたテーマであります。

当日は、会社の理念や生活クラブとの提携について、消費材と市販品の違い、そして化粧品の効果と使い方を実演指導してもらいました。かなり興味深い内容で、あっという間の2時間でした。化粧品って、なんとなくのイメージや値段で買って「こんなものかな～」と雰囲気を使っていましたが、今回いろいろ学び、反省のひと言に尽きます。これから心を入れ替えて努力するので、ジャパンビューティープロダクツさん!その成果を確認しに、いつかまた釧路に来てくださいね。(運営委員 牧野 真由美)



コアかがやき (6/26)



ノーマイクでもクレンジングは必要。大事なのは清潔なお肌です。

載!

各支部では、食はもちろん福祉・環境・石けんなど、趣向を凝らしたイベントをおこなっています。生産者と組合員が協力して消費材の魅力を伝え、利用と拡大をすすめる場にもなっています。ぜひ支部のイベントに参加して、生活クラブを知る機会にしてみませんか。

北支部

生産者を知ると消費材がもっと好きになる!

福山醸造(株)との提携開始は、2022年。毎日の食卓に欠かせない醤油から始まり、今ではめんつゆ、白だし、焼き肉のたれ、ポン酢醤油の生産者です。福井県の回船問屋だったヤマト福山商店は北海道の大豆に出会い、1891年に醤油製造を開始。その後、現在の苗穂に工場をつくったそうです。資料室には歴史を支えてきた人々の思いがあふれて



組合員14人で福山醸造の工場を見学 (6/26)

いました。まず、動画で醤油の製造工程を大まかに理解してから工場内へ。6ヵ月以上かけてじっくり発酵してできた「もろみ」を布に敷き詰め、それを何段にも重ねてもろみの重さで醤油が搾られる様子を見学しました。搾った残りは廃棄せず牛の飼料になるそうです。

事前に運営委員がおこなった市場調査の結果と消費材の比較で原材料を確認し、リユースびんを道内で循環できるようになった経緯もわかりました。参加者からは生活クラブの醤油をここまで仕上げた生産者の熱意を感じたとの感想が。生産者を知ると、消費材にひと味加わります。(運営委員 品川 千賀子)



赤いレンガの蔵の中には、かつて原料を鉄道で運び入れていた引き込み線のレールが

南 支部

身近なところから助けあう関係を

地域における福祉を学ぶために「おたがいさまの福祉講座」を開催しました。まず、生活クラブ福祉担当理事の山崎さんから、生活クラブの福祉のあゆみや社会福祉の課題について、表を交えてわかりやすく話してもらいました。次に、北海道たすけあいワーカーズの大谷さんの進行で、地域や自分たちの困りごとについて考えるワークショップを行いました。さまざまな問題も、みんなの知恵で解決策を見出すことができ、協力すればできないことはないと思えました。最後に、北海道子育て支援ワーカーズの嶋さんから、エッコロなどのケア者として接する時に気をつけるべきポイントをお聞きました。



参加者には、山崎さんから講座を受けた証として修了証が手渡されました(左写真)。エッコロを通して、相手ファーストで寄り添うことを大切に、地域の信頼関係をつくっていきたいと思います。(地域連絡会 大内 香織)



南区民センター (7/30)



エッコロは、組合員同士のたすけあいのしくみです

支部から 発信

生活クラブの魅力満 イベント開催中

小樽 支部

旨みがギュウっと詰まった牛肉

生産者コラボイベント「牛肉学習会」には、組合員5人と組合員外3人が参加しました。(株)チクレンミートから尊保卓之さん、中川雄登さんに来ていただき、牛の飼育の動画や屠殺され牛肉になるまでの過程の話、牛肉を使った消費材の紹介など、盛りだくさんの内容でした(下写真)。調理実演は「絶対に失敗しないサーロインステーキの焼き方」と「煮込まないふわっとしゃぶしゃぶ牛丼」のふた品。ステーキはめちゃめちゃ美味しく、牛丼は目からウロコの作り方で肉が柔らかく美味しかったです。



いなきたコミュニティセンター(7/8)

参加者からは「失敗しがちだったステーキを焼くコツを聞いてよかった」「成長ホルモン剤を使わないのはもちろん、人間が食べられるくらい安全な飼料を与えていることがわかった」などの感想がありました。

安心安全に大切に育てられた牛さんたち。その牛さんたちがわけてくれた命を残さずに食べ切る。命をいただくありがたさを噛み締めつつ、まずは1パック注文しよう! と思える学習会でした。(運営委員 大和田 友子)



ステーキをうら返すタイミングは、肉汁が出てきた時。1回だけ!



本物の牛乳を作り続けてもらうために

みんなでもっと飲みましょう!

生活クラブ牛乳の利用本数が下がり続けています。約6割の組合員がまったく利用しておらず、今年度の目標3万本を大きく下回るどころか、2万5千本に届かない月もあります。このままでは生産者が作り続けることができなくなります。生活クラブ牛乳のこだわりや価値を正しく理解しましょう。〈本部消費委員会〉



生活クラブ牛乳を飲み続けるために

消費委員会担当理事 石黒 真理

生活クラブ牛乳は、「低温殺菌牛乳」です。低温で殺菌するので、牛乳本来の風味を損なうことがなく、たんぱく質やカルシウム、乳酸菌などの有用な菌も生きています。しかし、この方法は時間がかかり非効率なので、日本の大手メーカーはほとんどが超高温殺菌法で製造しています。

生活クラブ牛乳を作るためには、細菌が少ない「新鮮で高品質な生乳」が必要です。そのため、札幌近郊の提携酪農家7戸が牧草を中心に、遺伝子組み換えではない飼

料の取り組みをすすめ、ストレスをかけないように大切に育てた健康な牛から高品質な生乳を生産。それをサツラク農業協同組合が集荷し、厳しい品質管理のもと65℃の低温で30分間かけてゆっくり殺菌しています。

道の駅や観光地でおいしいと言われるソフトクリームは、クセがなくさっぱりした味わいの低温殺菌生乳を使用している場合がほとんどです。しかし、酪農王国である北海道でも低温殺菌牛乳のシェアはとても低く、殺菌温度まで意識して牛乳を購入している消費者はとても少ないと感じます。食の安全を要求する人は多くいますが、食の安全をつくることは消費者個人の努力だけではできません。生活クラブは、生産者と提携をすすめ、自主基準に則ってつくった消費材を予約共同購入することで実践しています。栄養豊富な低温殺菌牛乳の価値を社会に発信し、わたしのため、家族のため、生活クラブ牛乳を飲み続け、利用する人を増やしていきましょう。

	生活クラブ牛乳	市販の牛乳
殺菌方法	低温殺菌法	超高温殺菌法
加熱温度・時間	65℃ 30分	120~130℃ 2秒
殺菌後	有用な菌が 生きている	完全滅菌

生活クラブ牛乳を飲み続けるために

「緊急！牛乳集会」を開催しました

サツラク農協の^{みま}美馬裕隆部長から、北海道の生乳生産の現状と生活クラブ牛乳の価値についてお聞きしました(下写真)。参加者同士のグループワークでは、利用を増やすためのアイデアを話し合いました。(札幌エルプラザ 6/20)



有用な成分が多く含まれている低温殺菌牛乳は、成長期の子どもはもちろん、ミドルエイジにこそ飲んでほしい

「ミルク氷」もおすすめ♪
骨粗しょう症の予防に!



レンネット実験



サツラク農協の奥田さんと平山さん

超高温殺菌と低温殺菌、
それぞれにレンネット(酵素)を入れ、胃の中を再現



左の超高温殺菌はサラサラのまま。それに比べて、低温殺菌は牛乳がしっかりと凝固! 胃に長くとどまるので、**栄養の吸収率が高い**ことがわかります

空襲と飢え 死と隣り合わせだった日常

チユブでは、戦争の実像を語り継ぎ、二度と愚かな戦いを繰り返すことのないようにと毎年8月号に戦争体験を掲載しています。戦後80年となる今年には、社会運動に関わりながら思想を紡いできた花崎皋平さん(94歳)から話を聞きました。花崎さんの詩も紹介します。

太平洋戦争の開戦時は10歳で、東京市杉並区荻窪に住んでいました。その年の4月に尋常小学校から国民学校に変わり、より一層、軍国主義が押し進められていきました。歴代の天皇と教育勅語を暗唱し、間違えたら怒られる。国民は国のためにご奉公するのだと教えられていました。だから、自分も兵隊になり国のために命を捧げ、20歳までに死ぬのだろうと。将来の夢なんて考えられない時代でした。

私の戦争の記憶は空襲と飢えです。荻窪は爆撃機の通り



はなざき こうへい さん

1931(昭和6)年生まれ。64年~71年まで北海道大学文学部教員(西洋哲学)。以後、文筆家(哲学・社会思想)として著書多数。1990年の、さつぽろ自由学校「遊」設立から2005年まで共同代表。小樽支部組合員

道で毎日のようにB29が上空を飛び、下町の空が真っ赤になるのを見ていました。近所に焼夷弾が落ちたり機銃掃射が行われたりして、いつ自分が被害にあってもおかしくない状況でした。

終戦の前年に13歳になりましたが学校へは行かず、飛行機工場に動員されていました。一日中立ちっぱなしで、給食は小さな缶の大豆煮だけ。それだけでは足りるはずもなく、お腹が空いて辛かったです。そのころ父は大阪に単身赴任、小学生の弟妹は長野県へ集団疎開して、私は母と二人暮らし。両親を亡くし頼れる親族もいなかった母は、食べ物調達するのに苦労しました。隣近所で助け合う雰囲気などなく、「あの人だけいい思いをしているんじゃないか」とみんな疑心暗鬼。そのうち母は、配給を多く取ったと噂されてノイローゼになってしま

いました。まだ少年だった私が面倒をみる立場になって母の症状も徐々に回復し、やがて終戦を迎えました。戦後、母と戦争の話することは、あまりありませんでした。

私は18歳頃から詩を作るようになり、大学は文学部に進学。これまで哲学と社会思想の著述を中心に仕事をし、思想と感情を表現する手段として詩作を重んじてきました。私がこの道に進んだのは、中国文学を愛し、論語の素読や書道を近所の子どもたちに教えていた母から影響を受けたのだと思います。

「国家を信用してはいけない。地域の小さい関係を大切にしてお仲間をつくり、自分たちの暮らしを考えて作っていく。そのような生き方もいいのではないのでしょうか」これからの時代を生きる皆さんへ、私からのメッセージです。(聞き手/敦賀)

どうしても思い出してしまう

どうしても思い出してしまう

一九四五年三月

爆撃機B29が 青空に爆音を響かせ

焼夷弾をばらまく

いま ウクライナを見舞っている攻撃を見聞きして

小さな借家の二十坪ばかりの庭に

防空壕を掘り 警報の鳴るたびにその中に入る

ヒュルルー ドン

あたりに落ちてくる焼夷弾

長さは三メートルぐらい 直径二十センチほど

いま ウクライナではもつと新式の砲撃だ

飢えの記憶も忘れがたい

私は十四歳 母と二人で東京のはずれ

食べるものはほとんど全くなかった

さつまいもやかぼちゃの茎と葉だけの汁

栄養失調でやせ細っていた

唇のぐるりに黒いかさぶた

喉が渇き 何か食べても下痢

アメリカのアフガン攻撃のテレビを見ていたら

アフガンの少年の口に同じかさぶた

「あ あれは一九四五年の私だ」

いま ウクライナに思いを馳せながら思う

歴史は繰り返す

進歩はしないようだ

(花崎皋平 詩集『自由創造社会ヤポネシアを創ろう』より)

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL011(887)8891 FAX011(887)7226
発行日 2025年8月20日 編集 広報委員会/W・C・Oプランニング

なるほど！なっとく！生活クラブ

わくわくまつり

11月2日(日)11:00～14:30

グランドメルキュール札幌大通公園
(旧ロイトン札幌)

札幌市中央区北1条西11丁目



足と靴の相談・販売会

日時 8月28日(木) 14:00～17:00
8月29日(金) 9:00～17:00
8月30日(土) 9:00～15:00

場所 生活クラブ本部

内容 (株)パラマウント・ワーカーズ・コープによる販売会です。足のサイズ測定や全身バランスチェック後、足と用途にあった靴を提案してもらえます。予約優先。

ニュース

7月3週

主催 本部消費委員会

釧路センター 移転のお知らせ

9/1に移転します。電話・FAX番号の変更はありません。

新住所：〒084-0917 釧路市大楽毛1丁目8番14号

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

野本さんの食品添加物講座

講師は食の安全を考える会 代表の野本健司さん。組合員以外にもどんな食品に問題があるの？ フェイク食品ってなに？ 輸入食品の現状は？ など、食品選びについて学びます。事前申し込みが必要です。

組合員以外も参加できます



テーマ「輸入食品を考える」

テーマ「食品添加物を考える」

●千歳

9月12日(金)10:00～12:00

まちライブラリー@ちとせ
(千歳市末広6丁目3 アルファ千歳ビル)

●手稲

9月13日(土)10:00～12:00

まるごと生活クラブ たね
(札幌市手稲区手稲本町1丁目2-2 スガイビル)

●江別

9月12日(金)14:00～16:00

江別 蔦屋書店 知の棟2F 文化教室
(江別市牧場町14-1)

●札幌

9月13日(土)14:00～16:00

札幌エルプラザ 2F 環境研修室
(札幌市北区北8条西3丁目)

ニュース

8月1週

主催 組織活動推進会議

2025年度 拡大試食会

日時 10月1日(水) 午前の部 / 11:30～13:00
午後の部 / 14:30～16:00

※時間は変更の可能性あり

場所 京王プラザホテル札幌 (札幌市北区北5西7)

内容 ホテルのシェフが消費材を使って調理した料理を食べながら、生産者と組合員が生活クラブを語る試食会です。生活クラブへの加入をおすすめしたい友人・知人と一緒に参加してください。

ニュース

9月1週

共催 生活クラブ・生活クラブ共生会



種集め

厚別支部

梅森 郁海

私は美味しい果物や野菜に出会つと、種を捨てられない。その種を育てるのが趣味なのである。ちなみに、今一番の楽しみは、昨年生活クラブで購入した沖繩のバインアップルの成長である。バインアップルは葉を水栽培し、根が出たら土に植え替える。この方法で数年後に実がつけやすい。想像するだけでわくわくが止まらない。

年長の娘も種集めが好きなのよ。去年庭に植えたどんべりは3本ほどが枝葉を伸ばし、今春、娘は藤の種を幼稚園から拾って来て、せっせと世話をしている。そして、とうとう2歳になったばかりの息子も種集めに目覚め、「たあにえ(種)」と言いなながら、食べたみかんの種を三日三晩冷蔵庫に運び入れ、その数、20個余り。

しかし庭は二畳もなく、畑はおよそ五畳というところ。どんべりに藤のみかんに…。小さな小さな庭や畑の未来と、小さな小さな2人の我が子の未来。両者共に今後が大変楽しみである。

組合員のエッセイを募集します。400字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送ってください。



道産 簡伐材を配合した紙を使用しています